

# スペシャルすまいる

No. 52  
2017  
APRIL

NIKKO City Council of  
Social Welfare

Public Relations Magazine "SPECIAL SMILE" of Nikko-Shakyo



## 全国校区・小地域福祉活動サミットinおかざき・西三河の様子

このサミットは参加した方々が地域への「誇り」を再確認し、さらなる活動への意欲を高める機会となることを目的として開催しています。写真は次回サミットの会場である日光市(社協 村上副会長 写真右)が岡崎市よりフラッグを受け取っている場面です。

## CONTENTS



この広報誌の発行にはみなさまからご協力いただきました赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

- 社会福祉大会報告 ..... 2～3ページ
- 私の地域の福祉活動(大沢、藤原、栗山地区) ..... 4～5ページ
- 共同募金報告 ..... 6ページ半面
- 寄付、義援金報告 ..... 6ページ半面
- NIKKO高校生ボランティアネットワーク活動紹介 ..... 7ページ
- 福祉共育シリーズ④  
「共同プロジェクト・ボランティアの扉」 ..... 8ページ

「誰もが安心して暮らすことので

# 第11回 日光市社会福祉大会開催

2月18日(土)、今市文化会館大ホールにおいて、第11回日光市社会福祉大会が開催されました。この大会は、私たちが住みなれた地域で共に、安心して暮らしていくために、積極的な取り組みを誓うとともに、社会福祉の推進に功績のあった方々への表彰を行いました。

記念講演では、現在リポーターとして日本テレビ系列「スッキリ!!」を主に、数多くの番組にご出演されている阿部祐二氏より「いじめの先にあるものは」～取材現場から見たもの～と題して、講演をいただきました。

今大会も多くの方にご参加いただき、盛会のうちに終了しました。

## 表彰 社会福祉施設・団体従事者

氏名	
手塚 祐介	佐藤 和美
鷹 箸華	柄内 利子
福田 登貴子	木村 千春
柴田 久美子	森山 知華
佐藤 朋子	下山 亜依
八木澤 容子	吉原 聖博
湯澤 和弘	唐津 佐知子
淵上 公子	永岡 亮祐
坂本 由加里	奥田 靖二
大橋 礼み	新井 亜子
見目 三佐	森田 千寿子
中丸 教子	福田 礼子
小野 絵美	野島 和江
神山 のぶ	熊川 千晶
神山 圭子	桑島 和代
石川 君子	友寄 久美子
川久保 里美	木村 等守
	寺山 守

## 感謝 自治会長

氏名	
大島 功	齋藤 清明
竹澤 正幸	市 藤 塙 成 一
星野 武雄	福田 貞 二
八木澤 良夫	山口 浩 三
花輪 忠男	星 正 男
齋藤 明	青木 行 雄
知久 進	齋藤 健 一
本間 友章	池田 時 夫
福田 正之	小倉 政 一
福田 勤	小池 幸 一
佐々木 俊久	植木 良 雄
齋藤 一夫	藤田 高 行
佐藤 常次郎	齋藤 貴 志
八木澤 光一	神山 祐 司
市村 利勝	中村 傳 七
高橋 勇行	河野 敬 二
中村 信次	沼尾 吉 光
福田 昇	大鈴 道 良
河内 務	鈴木 木 貞 明
齋藤 昭市	矢野 重 男
山越 多喜雄	湯澤 喜 十 郎
岸島 勝一	小 栗 晴 夫
斎藤 英 敏	

## 表彰 ボランティア・団体等

氏名
NPO傾聴ボランティア ”ありのまま”グループ



きる福祉のまち」実現に向けて



感謝

民生委員・  
児童委員、  
主任児童員

役員・評議員

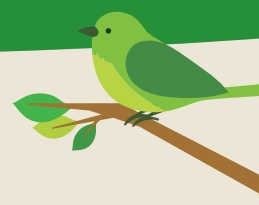
寄附者

氏名		
竹部	ツネ子	
亀山	テル子	
君島	一	

氏名		
川津	博子	
廻谷	政一	
竹末	浩子	
湯澤	勝子	
手塚	貞男	

氏名	
早川	勇
日光市地産地消推進協議会	

日光市社会福祉大会



講演をいただいた阿部祐二氏

講演後に本の販売とサイン会を行いました



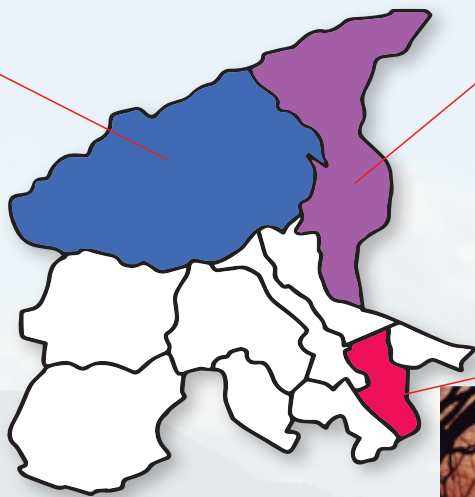
# 私の地域の

## 誰もが安心して暮らすことのできる地域を目指して

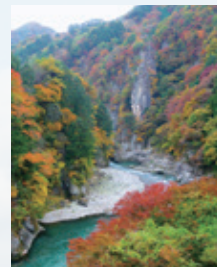
～大沢地区・藤原地区・栗山地区における小地域福祉活動～

地域で暮らす全ての人々が楽しく、生き生きと、そして心豊かに暮らしていける日光市を目指して地区ごとに様々な小地域福祉活動が行われています。  
今回は、大沢地区・藤原地区・栗山地区の3地区の取り組みを紹介していきます。

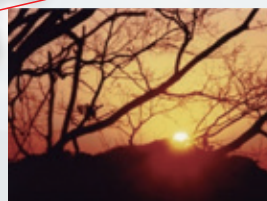
### 《栗山地区》



### 《藤原地区》



### 《大沢地区》



## 大沢 OHSAWA 地区

## 一生住みたい“まち”をめざして

～地域の絆を深めるために～

### ○第14回大沢ふれあいフェスティバル

ボランティアや地域の団体・施設と協力し、福祉について楽しく学ぶと共に、住民同士の交流促進を目的に実施しています。

### ○いきいきサロン

身近な居場所づくりを目指して、地域の自治公民館等を活用し、「健康に関する講座」や「防災教室」など自治会の希望に添った内容で開催しています。

### ○ふれあい交流会

大沢地区を南部・中部・北部の3つに分け高齢者の健康増進やいきがづくりを目的にそれぞれ年に2回、「健康教室」と「遊びリレーション」を開催しています。

他にも大沢地区社会福祉協議会では安心して暮らすことのできる地域を目指して、“地域を担う人づくり”や“見守り活動”を展開中です。今後も地域の方々と一緒に福祉のまちづくりに向けた活動を実施したいと思います。



# ふくし活動

## 藤原 FUJIHARA 地区

藤原地区社協小地域ネットワーク事業

### 集いの場運営スタッフ交流会

藤原地区社協では、お茶のみサロンなどの「集いの場」の運営に携わっている方や興味のある方を対象に交流会を開催しました。

現在活動中の「おたのしみ会」「にここに元気会」の運営スタッフや地区社協介護者交流会部会、12月に開催された担い手養成講座受講者など16名が集まり、2つの会の活動発表を行うとともに集いの場で活用できるレクリエーションや他の地域での取り組み事例を学びました。

その後はお茶を楽しみながら、悩み相談や情報交換等を行い、今後の活動への活力となりました。

これからも藤原地区社協では、住民が主体的・積極的に活動し、互いに手を取り合う地域づくりを目指し、活動していきたいと思ひます。



## 栗山 KURIYAMA 地区

### 栗山地区社協いきいき交流会

～過去を懐かしみながら“今”を楽しもう～

栗山地区社協では、地域で暮らす65歳以上の方を対象に楽しみづくりや生きがいづくりを目的にした交流会を開催しました。

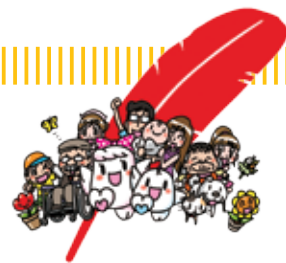
総勢50名以上の方が日向地区の公民館に集まり、保健師から健康に関する講話や体操、外部ボランティアの演芸鑑賞、さらには栗山地区の過去の様子を写した映像や写真を見ながら参加者は楽しいひとときを過ごしていました。また、昼食ではボランティアさんが作ってくれた昔懐かしの料理をいただき、過去の思い出話に花を咲かせていました。

これからも栗山地区社協では、全ての人が栗山に住んでいて良かったと思える地域を目指して、様々な活動を展開していきたいと思ひます。



# 共同募金

募金総額は **17,671,484円**



お寄せいただいた募金は、栃木県内および日光市内の福祉施設、団体や社会福祉協議会に配分され、みなさまの地域の「ふだんのくらしのしあわせ」＝福祉を応援するために役立てられます。



今年度の配分事業の一部をご紹介します

- 車いす貸与事業
- 広報誌発行事業
- ボランティア活動推進校事業
- 福祉団体活動助成
- ボランティア団体活動助成
- 歳末たすけあい事業助成など

**ご協力ありがとうございました**

## 寄 附 報 告

平成28年12月1日～平成29年2月28日

(一般寄附)		順不同・敬称略
取扱	寄 附 者 名	金額(円)
本所	早川 勇	300,000
本所	池田 範宏	30,000
今市	小野ヨシエ	20,000
今市	宇都宮ヤクルト販売株式会社	61,000
今市	今市陶友会	30,000
今市	匿名	10,000

(一般寄附)		順不同・敬称略
取扱	寄 附 者 名	金額(円)
今市	日光市地産地消推進協議会	78,200
今市	斎藤 仁一・斎藤 永行 手塚 庄右衛門	33,295

(物品寄附)		順不同・敬称略
取扱	寄 附 者 名	品 名
今市	岡部 宮子	紙おむつ

## 「熊本地震災害義援金」の結果報告と御礼

義援金額 **3,688,463円**

日光市及び日光市社会福祉協議会では、被災された方々を支援するため、平成28年4月18日から熊本地震災害に対する義援金の募集を行って参りましたが、平成28年12月28日をもって募集を終了いたしました。

期間中、皆様より多額の義援金をお寄せいただきまして誠にありがとうございました。平成29年1月4日付の送金分をもって、上記義援金全額を日本赤十字社へ送金させていただきました。

なお、日本赤十字社では、平成30年3月31日まで義援金を受け付けています。詳しくは下記のホームページをご参照ください。

日本赤十字社「平成28年熊本地震災害義援金」  
【URL】<http://www.jrc.or.jp/contribute/help/28/>



平成27年度は、**2,796,913円**の寄付をいただきました。

### ●税制上の優遇措置について

日光市社会福祉協議会は、社会福祉法人となっており、本会に対する寄付には、所得税法による寄付金控除、法人税法による寄付金の損金算入等の優遇措置があります。

### ※寄付金控除計算式※(個人の場合)

寄付金額 - 2,000円 = 年間所得総額から控除される金額

(詳しくは、市税務課又は管轄税務署にご確認ください。)

※控除を受けるためには、確定申告を行う必要があります。

寄付金は、本会の活動を支える重要な財源です。金額の多少を問わず、年間を通して受け付けておりますので、みなさまのお気持ちをお寄せください。たとえば、こんな寄付をいただいています。

- 町内会、趣味の会、企業などのイベントでの収益を
- 個人的な記念日等にあわせて、毎年一定の額を
- 店頭で募金箱を置いて、集まったお金を
- 冠婚葬祭でいただいた慶祝金や弔慰金の一部を(また、返礼の代わりとして)



## NIKKO 高校生ボランティアネットワーク 縁人プロジェクト Youth Volunteer Report

### 高校生ボランティアによる 災害復興支援のカタチ

#### 東松島市での支援活動 ココカラハジマル。プロジェクト

今年度も年5回、宮城県東松島市の仮設住宅での活動を行ってきました。この活動では、矢本運動公園仮設住宅で暮らす方々を元気づけようと、地元の県立石巻西高校の生徒たちと一緒に「高校生カフェ（サロン活動）」を開催しています。両者の関係性が育まれたこともあって、企画づくりや運営も円滑に行うことができ、地域の方々との交流も回を重ねるごとに盛り上がりを見せています。最近では、仮設住宅から移転された方々もサロン活動の情報を聞きつけて会場を訪れるなど、支援活動を越えた継続的な交流の場となっています。

また、今年度から新たな活動として、高台に移転した宮戸島・月浜の震災後の新たな地域づくりを応援するため、地域の伝統文化や産業等に触れながらの勉強会や地域探索、高校生カフェなども行うようになりました。

東日本大震災から6年。高校生たちが活動している

※この高校生ボランティアネットワークでは、日光市川俣地区（栗山地域）での地域活性化の活動にも取り組んでいます。

#### ステージ⑫

宮戸島の海を見つめる高校生。震災時、津波の被害を受けた地域。



東松島市でも、長年続いた仮設住宅での生活から新たな居住地に移り住む、いわば日常生活への移行も終盤に差しかかっています。矢本運動公園仮設住宅では約400世帯のうち居住者が1割を切り、徐々に閉鎖への動きが出ています。

この東松島市での活動も今年度で5年が経過しました。「日常生活に移行するまでの復興支援」という役割を遂行し、去る2月26日は『感謝祭』を実施しました。しかし、これで復興支援が完結したわけではなく、本当の意味での復興はこれからなのかもしれません。このような動向とともに、高校生たちにとっての新たな出番や役割が生まれています。

この高校生ボランティアの活動は、Facebook ページでご覧になれます。  
<https://www.facebook.com/nicokatsu/>



#### ステージ⑬

昨年12月17日、仮設住宅集会所においてクリスマスをテーマに開催した「高校生カフェ」。

#### ステージ⑪

地域の子もたちと遊ぶ高校生たち。



# 日光市における

# 福祉 共育

# の 取 り 組 み

日光市社会福祉協議会では、地域の担い手を育む福祉教育（共育）推進の一環として、地域との協働によるボランティア・福祉教育活動を推進しています。今回は、日光市と新潟県妙高市の学生との「共働（協働）」（※）による実践活動「日光×妙高ユース共働プロジェクト」を紹介します。

## Series.4 日光×妙高ユース共働プロジェクト

### 活動の概要

平成22年から始まったこのプロジェクトは、日光市と新潟県妙高市でボランティア活動に取り組む学生たちが交流と共働活動を通じて、共働（協働）の意義や価値を学ぶとともに、相互に見聞を広め、明日への活力の場とすることを目的として実施しています。

12回目となった今回の活動は、平成29年1月7日（土）～8日（日）の2日間で、新潟県妙高市にある限界集落・長沢地区を舞台に繰り広げられました。

1日目は、日光市と妙高市の学生たちの顔合わせの後、高齢者支援ホーム「いきいきホーム」にて、地元のお年寄りの方々との交流会「長沢のつどい」を行いました。交流会では、学生たちの企画によるレクリエーションで盛り上がりながら、地元の方々とおしゃべりをし、一緒に楽しい一時を過ごしました。

2日目では、日光市と同様に“そば処”として知られる長沢地区伝統のそば打ち体験を行いました。学生たちも最初こそは慣れない手つきでしたが、地元のそば打ち会の方々によるご指導のもと、徐々にコツを掴んでいき、立派な“長沢そば”を再現しました。

その後、「お・も・て・な・しツアー」と題して、自分たちの手で作った打ちたてのそばとメッセージカードを届けに、地元の高齢者宅を訪問。訪問先では、地元の人達の喜ぶ様子が見受けられ、中にはお菓子などのお返しをいただくこともありました。

活動の最後には、参加者一人一人が二日間の感想や思いを発表しました。その中で、「日光と妙高、地域は離れているけど、なんとなく似ているように感じた」等といった声が聞かれ、今回の活動における個々の学びや気づきを共有する有意義な機会となりました。

この活動を経て、また一つ成長した若者たちの今後の活躍が期待されます。



### ※共働（協働）

異なる主体が何らかの目標を共有し、ともに力を合わせ活動すること。一般的な概念ではないが、行政やNPOの現場で「パートナーシップのあり方」を表現する概念として少しずつ普及。現在のまちづくりのキーワード。



私たちのボランティア  
活動を紹介します！

## 「日光市福祉ボランティア団体協議会」からのお知らせ 「ボランティアの扉」が完成しました！

日光市福祉ボランティア団体協議会では、より多くの方にボランティアに関心を持ってもらいたいという思いから、この度、各団体の活動内容などを取り上げた小冊子「ボランティアの扉」を作成しました。社協をはじめ、関係機関の窓口などに随時配布していく予定ですので、見かけた際には是非、手にとってご覧ください。

お問い合わせ先

TEL：0288-21-2759

日光市社会福祉協議会・地域支援チーム（日光市福祉ボランティア団体協議会事務局）まで